

# 会 議 録

部 長	課 長	課長補佐	係 長	係
件 名	令和6年度第1回かほく市大海財産区管理 会及び管理委員会合同会議		作成者所属 職 氏 名	農林水産課 係長 南敬太
日 時	令和7年2月10日(月) 10時00分～10時30分		場 所	大海交流センター 交流室
<p>出席者 [管理者] 油野市長 [管理会] 会長：宇野順一 副会長：西田省三 委員：田中英明、西正一、林輝夫、東博邦 [管理委員会] 委員：田中英明(管理会兼務)、林良一、北栄順、酒井実、林輝夫 (管理会兼務)、北口正紀、金子修平、西田省三(管理会兼務)</p> <p>[石川県県央農林事務所森林部] 榎場森林振興課長、稲田技師 [金沢森林組合] 高野河北支所長、三山主任 [事務局] 庭田産業建設部長、北川農林水産課長、猪村担当課参事、南係長、岡村主事</p> <p>司 会 猪村担当課参事 進 行 宇野会長</p>				
<p>○管理者油野市長挨拶</p> <p>本日の出席と、日頃の市政へのご理解とご協力に感謝申し上げます。</p> <p>能登半島地震から1年が経過した。かほく市でも大きな被害が出ており、特に大崎地区が液状化で大きな被害が出た。半壊以上の被害があり解体申込みを受けている住家のうち約6割が解体済みという状況であり、まだまだ解体の作業を進めているところである。また、大崎地区は地盤改良等の液状化対策をしっかりと行っていない。こちらについては、今年は、地下水位低下工法というものと地盤改良工法というものを2箇所ずつ実証実験して1年間かけて地盤が沈下するか、他のところに影響があるか等をしっかりと検証し住民の皆さんにご理解いただいたうえで工事に取り掛かるといふ流れとなる。また、この工事も5年から10年以上かかるのではないかと予想しており、境界画定でも5年以上かかるということが言われているため厳しい状況であるといふところをみなさんにご理解いただきたい。</p> <p>大海財産区内においては地震で被害が出たのが5箇所であり、一昨年(2022年)の7月12日の線状降水帯による豪雨災害では、財産区内では42箇所の被害があり合計47箇所。そのうち復旧済みが28件、今年度中復旧予定箇所があと9件である。残りの10件も順次取り組んでいく。</p>				

○宇野会長挨拶

出席のお礼。積雪の状況について、2月に入ってから豪雪となり驚いている。

本日は令和5年度の決算の報告、令和6年度の決算見込みの報告、そして令和7年度の予算の承認についてご提案するためご協力をお願いし、挨拶とした。

○管理委員会 欠席委員及び新委員の紹介について

猪村担当課参事より、管理会の蔵谷豊和委員、管理委員会の城村晃委員の本日欠席の報告。新しく区長になられた黒川区長の北栄順氏、中沼区長の金子修平氏が新委員として紹介され、一言挨拶した。

○議件1. 令和5年度大海財産区特別会計決算の報告について

議件2. 令和6年度大海財産区特別会計決算見込の報告について

議件3. 令和7年度大海財産区特別会計当初予算（案）の承認について

南係長より別紙資料に基づき説明した。

拍手をもって承認された。

○その他案件1. 令和6年度賦課金の納入及び令和7年度賦課金の算出世帯数について

猪村担当課参事より別紙資料に基づき説明を行った。

○その他案件2. 「松田政弘氏による土地交換の申出」について

猪村担当課参事より、平成28年度に申し出を却下した決議について、法的に問題がないのか市の顧問弁護士に確認し、申し出を却下する旨決議したことに問題はないとの見解を受けたことを報告。

○その他案件3. 「高地谷林道の桜並木背後地の造林地の間伐」について

県央農林総合事務所森林部稲田技師より、別紙資料に基づき説明を行った。桜並木の生育に造林地の杉が関わっているのではないかとということで間伐をご要望いただいている。間伐の予定については、令和7年度に現地の確認を行い、地形や杉の生育状況を確認し実施可能か検討を行う。条件や計画が整えば令和8年度に実施する方向で進める予定である。桜の背面にある杉だけを選んで切るのではなくあくまで間伐であるということをご理解いただきたい。

【質疑応答】

宇野会長より、市をあげて林道の桜を大事にしているが、最近桜の木が老朽化してきている。それが杉の陰が原因ではないかと考えている。できるだけ間伐を活用して、桜の周りに日が当たるようにしていただきたい。市役所から林業公社へは、以前からこの話はしているが、今回初めて大海財産区からの要望を出させていただいた。

○西田副会長挨拶

慎重な審議をしていただいたお礼。今後も皆さんのお力添えをいただき、よろしくお願ひしたい。

以上